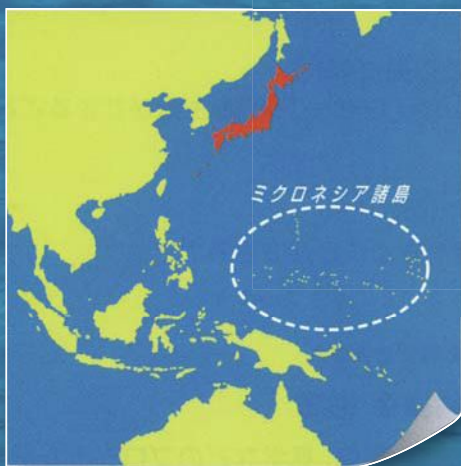


2014 ミクロネシア諸島 自然体験交流事業

「ミクロネシア諸島自然体験交流事業」は、子どもたちがミクロネシア諸島のサンゴの海や森など豊かな自然の中で、現地の子どもとスポーツやレクリエーション活動などを通して、自然のすばらしさや世界の人が協力することの大切さを学びます。
この事業は、子どもの健全な育成を図る体験活動や読書活動などへの取組みを支援する「子どもゆめ基金事業」の一環として実施するものです。

参加者
募集!



フィリピンの東からハワイにかけての赤道より北に点在する大小2,000以上の島々からなる地域の総称がミクロネシア諸島です。美しい砂浜、マングローブの森や植物群、熱帯のジャングルなど世界でも類を見ない「自然の宝庫」と言われております。



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

2014 ミクロネシア諸島自然体験交流事業

★ 事業趣旨

「ミクロネシア諸島自然体験交流事業」とは、子どもたちの自然体験活動などの充実を図るため、自然環境に恵まれ、独自の文化を生み出し、また、日本との交流の歴史があるミクロネシア諸島において、子どもたちが、自然、異文化、及び同地域の人々との交流などの体験活動を行うことにより、自然のすばらしさ、共存することの大切さを学ぶ機会を提供することを目的としています。

この事業は、子どもの健全な育成を図る体験活動や読書活動などへの取り組みを支援する独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」事業費により実施します。

★ 訪問地域

マーシャル諸島共和国・ミクロネシア連邦(チューク州)・パラオ共和国

★ 事業期間

平成26年7月21日(月)～7月30日(水)

※各初日は、国立オリンピック記念青少年総合センター<東京都渋谷区>に集合し、一泊の事前研修を行います。

★ 各地域での主な活動内容

①海や森林での活動プログラム

豊かな自然の残る地域を訪問し、サンゴの美しい海での遊泳、浜辺遊び、亜熱帯のジャングル散策などを行います。自然を観察し、自然の大切さや雄大さを学びます。

②安全を重視した野外生活体験

自然の中のロッジ(小屋)で宿泊を行います。(食料、飲み物や野外生活用具を準備します。)野外生活体験ではシャワーもトイレを流すのも、雨水と汲んできた海水だけです。水の貴重さと自然の大切さを学びます。

③ホームステイ

島の人たちが普段どのような生活をしているのか、一緒に過ごして異文化体験を行い交流を深めます。

④スポーツやレクリエーション

訪問先の同年代の子どもたちと、スポーツをしたり歌やおどりの披露を通して文化交流を行います。

※但し、気象状況などにより、活動内容が変更される場合があります

★ 募集人員及び応募資格

○日本国内に在住している小学校5年生から中学校2年生(平成26年4月2日現在)までの男女48名

①初めて出会う日本や外国の子どもと共に、仲良くスポーツや遊び、生活ができること。

②自分の身のまわりのことは、自分でできること。

③自然の中でのキャンプや海や森の中での活動ができること。

④普通の生活と異なった場所で共同生活ができること。

⑤いつも飲んでる薬がある場合、決められた飲み方、飲む量を守ることができること。

⑥飛行機や船などを利用した長時間の異動ができること。

※2008年度～2013年度「ミクロネシア諸島自然体験事業」への参加者は、応募できません。

★ 応募締切

平成26年5月16日(金)

独立行政法人国立青少年教育振興機構 ミクロネシア諸島自然体験交流事業担当係 必着

★ 参加費

ひとり 75,000円 (往復航空運賃、期間中の宿泊費及び食事費、研修、見学などのプログラム活動費の一部に充当されます。)

★ 後援

外務省、文部科学省、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオ共和国

★ 事業主催

独立行政法人国立青少年教育振興機構

詳細はHPでご覧下さい <http://yumekikin.niye.go.jp/> こちらからも募集案内をダウンロードできます。

問い合わせ先:独立行政法人国立青少年教育振興機構「ミクロネシア諸島自然体験交流事業」担当係 まで



03-6407-7756

募集案内をお送りいたします。

●受付曜日:月曜～金曜 ●受付時間:10:00～17:00 ※土日祝日は受け付けておりません。